

記入例

|      |              |
|------|--------------|
| 受験番号 | ※記入しないでください。 |
|------|--------------|

令和7年度高等学校（情報）教員資格認定試験  
実務に関する証明書（様式）

※太枠内のみ出願者本人が記入し、それ以外の欄は証明者が記入してください。

(1) 出願者氏名，生年月日（出願者が記入）

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 出願者氏名 | 試験 太郎               |
| 生年月日  | 昭和 60年 5月 1日生<br>平成 |

(2) 上記出願者の勤務期間（証明者が記入）

|               |                               |                    |                    |                               |
|---------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 勤務期間          | 勤務先                           | 職名                 | 担当教科               | 勤務期間                          |
|               | 〇〇県立 認定試験高等学校                 | 講師                 | 数学                 | 平成27年4月 1日から<br>平成31年3月 31日まで |
|               |                               |                    |                    | 年 月 日から<br>年 月 日まで            |
|               |                               |                    |                    | 年 月 日から<br>年 月 日まで            |
| 上記期間における実労働時間 |                               | 7, 680時間           |                    |                               |
| 勤務しなかった期間     | 期間                            | 事由<br>(休職，育児休業等の別) | 期間                 | 事由<br>(休職，育児休業等の別)            |
|               | 平成29年4月 1日から<br>平成29年8月 31日まで | 病気休暇               | 年 月 日から<br>年 月 日まで |                               |
|               | 年 月 日から<br>年 月 日まで            |                    | 年 月 日から<br>年 月 日まで |                               |
|               | 年 月 日から<br>年 月 日まで            |                    | 年 月 日から<br>年 月 日まで |                               |

(1) に記載の者は，上記のとおり実務に関し良好な成績で勤務したことを証明する。

令和 7年 2月 20日

(証明者) 所 属 名 〇〇県立 認定試験高等学校

職 名 校長

氏 名 ○ ○ ○ ○



(記入上の注意)

- ・「担当教科」について，免許状の教科と異なる教科でも差し支えありません。
- ・「勤務期間」について，現在も引き続き勤務している場合は，証明日までの日付を記入願います。
- ・「上記期間における実労働時間」は，「勤務しなかった期間」を除いて算出してください。
- ・「勤務しなかった期間」とは，休職期間，育児休業期間及び引き続き90日以上病気休暇等の全ての期間をいいます。
- ・本様式は，認定試験ウェブサイトからもダウンロード可能です。複数必要な場合は，コピー（全ページ）してください。
- ・明らかに3年以上かつ4,320時間の勤務が証明できる場合は，勤務時間を詳細に算出・記載する必要はありません。「4,320時間以上」と記載してください。